



立秋とは名ばかりの残暑厳しい日が続いておりますが、皆様にはお変わりなく、お健やかに過ごしのことと思います。

さて、今回は昨年開催いたしました総会・懇親会の報告を中心にお知らせいたします。是非ご覧の上、今後の同窓会活動へのご参加お待ちしております。

会長挨拶



同窓会会長 辻 和夫

会員の皆様におかれましてはご健勝でご活躍のことと思います。

さて、平成11年8月22日開催いたしました同窓会総会におきまして規約の改正が議決され、その規約に基づき平成12年1月に開催いたしました「幹事会」におきまして、同窓会の運営に携わる役員の改選が行なわれ「役員名簿」(別記)のとおり選任されました。私が引き続き同窓会会長を仰せつかりました。微力ではございますが、役員の皆さんと共に同窓生相互の情報交換の場として、また母校と皆さんとの情報交換の場としての同窓会を目指していきたいと思いますので、ご協力お願いいたします。

今回の規約改正により、役員の改選、予算及び決算

の承認など会の運営にかかる基本的なことが、各学年の幹事の方からなる「幹事会」に諮られ決定されることとなります。幹事の皆さんには同級生(同学年生)の代表的な立場でご協力をお願いすることとなりますので、幹事会への出席について特にお願いたします。また、「幹事」の交替等ありましたら必ず事務局までご連絡ください。

同窓会も本年2月に172名の新しい会員を迎えまして、1万816名という大きな会となりました。このような大きな組織となりますと、みなさんの一人一人の協力なしには成り立ちません。同窓会の諸事業には積極的にご参加くださるようお願いいたします。



懇親会の1コマ

総 会 報 告

◆1998年度同窓会会計決算（案）報告及び1999年度同窓会会計予算（案）について

【1998年度同窓会決算】

収入の部	1998年度予算額	1998年度決算額	備 考
前年度からの繰越金	7,322,729	7,322,729	
当期会費収入	1,180,000	1,170,000	@5000×234名
名簿等収入	6,000	3,000	名簿購入
利息収入	10,000	7,937	銀行・郵便利息
その他収入	0	208	96年度学年口より
収入合計	8,518,729	8,503,874	

繰越金内訳	
定期預金（東海銀行）	1,500,000 円
〃（郵便局）	400,000 円
普通預金（東海銀行）	6,460,620 円
〃（郵便局）	116,454 円
合 計	8,477,074 円

支出の部		1998年度予算額	1998年度決算額
消耗品費		30,000	0
会議費		100,000	13,800
	総会費	0	0
	幹事会	50,000	0
	役員会	50,000	13,800
通信費		630,000	13,000
アルバイト代		100,000	0
印刷費		1,500,000	0
備品費		0	0
予備費		300,000	0
支出の部		2,760,000	26,800
次年度繰越金		5,758,729	8,477,074
合 計		8,518,729	8,503,874

【1999年度同窓会予算案】

収入の部	1999年度予算額	備 考
前年度からの繰越金	8,477,074	
当期会費収入	865,000	@5000×173名
名簿等収入	3,000	
利息収入	10,000	銀行・郵便利息
その他収入	0	
収入合計	9,355,074	

【99年度総会収支報告】

収入の部	金 額	備 考
総会参加費(当日支払)	270,000	@6000×45人
〃 (郵便振込)	402,000	@6000×67人
寄付金 (郵便振込)	79,000	
その他	30,000	御祝儀(飯鉢先生)
一般会計からの繰入	244,205	
計	1,025,205	
支出の部		
会場支払分	967,995	名鉄ニューグランド
式次第	42,000	@200×200部
名 札	15,210	@60×250個+振込手数料
計	1,025,205	

支出の部		1999年度予算額	備 考
消耗品費		100,000	ラベル・フィルム
会議費		1,150,000	
	総会費	1,000,000	懇親会費等
	幹事会	100,000	
	役員会	50,000	
通信費		1,800,000	
	幹事会案内	50,000	幹事会・役員会
	会報郵送	1,680,000	8000部×@120、@90
	役員会	70,000	
アルバイト代		70,000	
	名簿整理	70,000	入力作業
業務委託費		100,000	
	会報発送	100,000	袋詰・宛名シール貼
印刷費		1,635,000	
	会報	900,000	9000部×@50×2
	封筒	735,000	50000部×@14
備品費		0	
予備費		20,000	
支出の部		4,875,000	
次年度繰越金		4,480,074	
支出合計		9,355,074	

◆日本福祉大学附属高等学校同窓会会則の改正について

◎ 会則改正の趣旨

同窓会活動再開にあたり、この動きを止めないよう活動していけるように、また同窓会自体がより動きやすい組織となるよう、今回会則の改正を提案するものです。

◎ 主な改正点

1. 役員について

- 役員構成において“書記を2名、常任幹事を10名以内”とする。・・・【第7条】
(→ 書記 3人、常任幹事 15人以内)
- 役員の任期を“5年”とする。・・・【第10条】
(→ 2年)
- 役員の選任・解任は、“幹事会”にて行う。・・・【第9条】
(→ 総会)

2. 本会会議について

- 本会の会議を“総会・常任幹事会・幹事会”とする。・・・【第12条】
(→ 総会・幹事会・役員会)
- 各会議の任務として、総会は“事業の報告”のみとし、幹事会は“会則改正の議決、常任幹事の互選、その他本会の事業の執行に関する事項の検討及び承認”とする。・・・【第14条】
(→ 会則改正の議決、予・決算の承認、事業その他の報告及び承認)

3. 入会金について

- 入会金は、“卒業年度に納入する”ものとする。・・・【第16条】
(→ 入学と同時に納入する)

4. 雑則について

- 会員名簿は、“5年毎に印刷・有料頒布”する。・・・【第17条】
- 会報は“毎年一回以上発行”する。・・・【第18条】

5. 弔事について

- 会員の弔事等にお悔み電報を送ることができる。・・・【第19条】

◆同窓会役員選出について

上記において会則改正が承認されたことにもとづき、今後運営の中心となる役員を幹事会（平成12年1月22日開催）において選出しました。新役員は次のとおりです。 () は卒業年度

会 長	辻 和 夫	(36)	常任幹事	近 藤 春 幸	(47)
				森 恵 子	(48)
副 会 長	片 山 隆	(53)		福 井 政 浩	(58)
	小 林 純 穂	(62)		桝 原 京 子	(58)
書 記	吉 川 宗 甫	(38)		西 将 志	(平5)
	西 村 容 子	(53)		鶴 長 泰 輔	(平7)
会 長	佐 藤 か お り	(平7)	監 事	宮 田 建 男	(38)
	渡 辺 正	(事務局)		山 本 哲 資	(42)

※書記、会計は常任幹事の中から選出しています。

この新体制で幹事の皆さんと同窓会を運営していきますので、宜しくお願いいたします。



懇親会風景



総会・懇談会

日時 平成11年8月22日（日）

PM 3:00～

会場 名鉄ニューグランドホテル



福祉大学付属(立花)高等学校同窓会総会懇親会





第3回 立花高校第14回生学年同窓会

日 時 平成10年8月9日(日)

PM 2:00~

場 所 愛知厚生年金会館(鳳凰の間)

各クラス担任をお迎えして、楽しいひとときを過ごすことができました。

5年ごとに開催しています。

学年幹事 植木 高広 (D)
植木 典子 (C) (旧 佐野)

A組 山田 高也

B組 阿部 幸子 (花岡)

C組 森 恵子 (渡邊)

D組 小森 香苗 (星野)

山田 順子 (藤谷)

E組 住田 誠

F組 近藤 義弘 (古田)

G組 野村 逸武 (鵜飼)



高校 近況報告

◆新校長あいさつ

「青年期一貫教育の実現のために」



学校長 福岡 猛志

同窓会の皆様、お元気ですか。「学力問題」「学級崩壊」「新学力観」などの言葉が新聞紙上をにぎわせ、私学をめぐる極めて厳しい状況が喧伝されるなか、日本福祉大学付属高等学校は、創立以来の、豊かな「人間教育」の視点をいっそう具体化・深化させながら、着実に地歩を固めつつあります。特に、この数年来、学園をあげて「21世紀構想」を取りまとめ、大学・専門学校・付属高等学校を貫く「青年期一貫教育」の体系を追求してきましたが、そこで掲げた「付属高等学校生徒の50～60パーセントが、日本福祉大学と専門学校に推薦で進学」という具体的目標に対して、日本福祉大学だけでも50パーセントを超える実績を作ることが出来ました。もちろん、学内外の皆様の大きなご支援あっての事です。教育改革を柱にすえた、諸先生方・生徒諸君の努力の成果です。

この成果を一層発展させ、付属高等学校と大学さらには専門学校の連携を本格的にすすめるため、大学副学長であり学校間連携推進室の責任者である私（福岡猛志）が、前任者 飯鉢武男先生の後を継いで学校長に就任いたしました。

精一杯努力したいと思います。同窓会の皆様のご支援を心よりお願い致します。

◆退職職員あいさつ

中瀬 真佐夫先生

30年の長きにわたりお世話になり、ありがとうございました。県立足助高で4年程勤めてから本校体育科に移りましたので、34年間の教職を終えることになります。

30年のうち、29年間担任クラスがありました。これは教育条件がきつかったということと、管理職につかなかった、ということでもあります。山里時代（3F・2A・3B・1F・3A）天白プレハブ時代（2C・1C・3B・3C・1C・1B・2B・3B）美浜時代（1B・2F・3D・2D・3E・3B・1H・2H・3H・1H・2F・2H・3H・2G・3F・3E・ナシ）で、13回3年担任をしております。授業が早く終わる3年が好きだったようです。何年前の卒業生であろうと、名前がわかれば顔・性格・成績（？）まで浮かびます。担任とはそんなものです。

30年のうち、軟庭部・陸上部・バレー部、そして再び軟庭部の顧問をやりました。部員諸君と本気になって練習したり、ゲームをしている時が34年間の教職生活で一番楽しかった時です。本音で語り合えたし、「若さ」を保つことが出来ました。

今後は、F大付同窓生として仲間に入れていただきます。

◆飯鉢先生あいさつ

「過ぎたれど、去らぬ日々」の30年



飯鉢 武男

今年の3月を以って、30年間にわたる本校での教師生活にピリオドを打たさせていただきました。

この30年間は、私にとっても本当に激動の時代でした。山里校舎、八事プレハブ校舎そして現在の美浜キャンパスと3回引っ越し、校名も3回変わりました。自然科学入門や「地球大紀行」の授業・学級総会・修学旅行・学校祭への取り組みなどを始め、皆さんと共に過ごした語り尽くせぬくらい沢山の思い出が、「過ぎたれど、去らぬ日々」として懐かしく時にはほろ苦く思い出されます。

その時その時のクラスや授業を共にした皆さん方に支えられて、本校での教師生活を全うすることができましたことを何よりもうれしく、感謝しています。

皆さんの母校であり、教師としての「私の母校」でもある日本福祉大学付属高校の、21世紀に向けた発展を心より期待しています。

稲垣 惣司先生

「辿り着き振り返り見れば

山河を越えては越えて来つるものかな」

教師生活42年、就中日本福祉大学付属高等学校30年の教師暮らしの幕を引くに際して、私の心境を率直に言い表すことばは、この河上肇博士の「うた」そのものです。私の教師生活の始まりと本校の創立とは時を全く同じくした1958（昭和33）年4月でした。

その時1本のチョークを持ち、胸を最高にときめかして教壇に立った私は、授業というセミ・ドキュメントドラマの演出家兼主役の自分に酔いしれ、この醍醐味の為にこそ、銀行屋の道をふりすて教師になったんだと自己納得をしました。その私の教師生活の最後が「授業」の実践をもって締め括れたことは、幸運これに尽きるものではありません。

ゲーテはその終焉に際して、Es ist gut.と言ったといいますが、私も将にその通りです。この事の前にはこれまでの恩讐は悉く忘却の彼方に消え、満足と感謝の気持ちで一杯でいます。

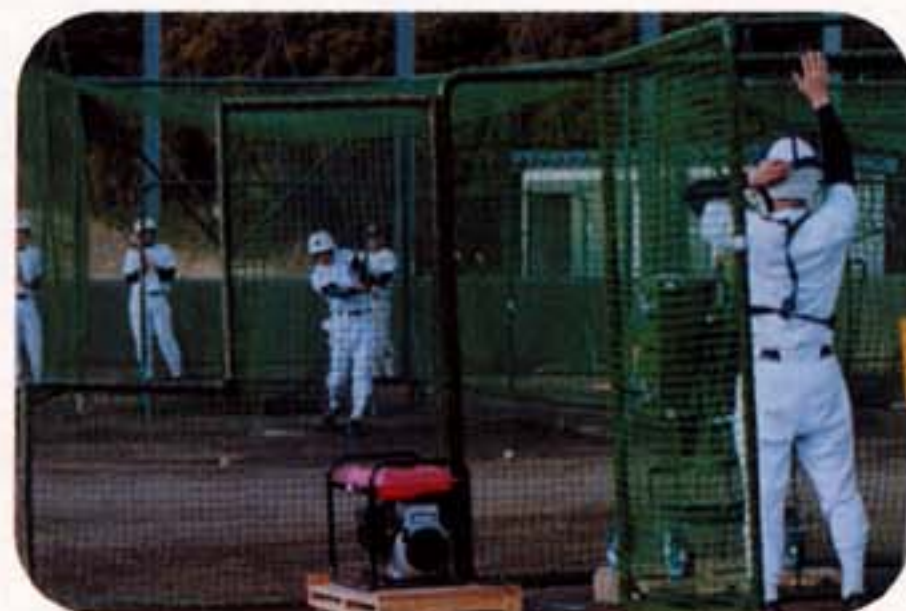
春隣白墨の粉軽ろやかに 梧桐

◆日本福祉大学付属高等学校後援会が設立されました◆

平成11年2月27日に「教育と課外活動に対する後援・援助及び文化的諸事業をとおして、付属高等学校の充実・発展を図る」ことを目的として"日本福祉大学付属高等学校後援会"が設立されました。

平成11年度の事業は、設備・備品援助として「野球部：ピッチングマシーン1台と付帯設備一式」「サッカー部：カラーサッカーボール5個」「和太鼓部：大太鼓(尺5)2台」を、また褒賞事業として、全国高等学校総合文化祭出場の"和太鼓部"と同文化祭書道部門出品の"2年吉川枝里さん"に賞状と金一封が贈呈されました。それ以外にも、「学校祭"ゆりのき祭"案内チラシ20,000枚」の援助や国際交流事業で来校された豪州のパトリシア校長受入れ時の諸費用援助などを実施しました。

本会 同窓会・PTAとともに、付属高等学校の発展のため今後とも大きな支援をしていきますので、よろしくお願いします。



◆国際交流◆

98・99年夏に引き続き、今年も2週間のオーストラリア語学研修を実施しました。各学年から希望者を募って、今年は生徒20名と教員2名で豪州メルボルンのサンドリンハム高校を訪問、2週間生徒たちは各ホストファミリーの元でホームステイしました。大半の生徒が初めての海外ということもあり希望と不安を抱えながら旅立っていましたが、2週間後にはホストファミリーとのかけがえのない体験をしたことでひと回り大きくなって皆元気に帰ってきました。

今後はこちらからの訪問だけでなく、オーストラリアからの生徒受入れも予定していますので、また皆さんにご報告させていただく予定です。楽しみに…。



◆和太鼓部「楽鼓(らっこ)」の活躍◆

昨年8月の総会でも素晴らしい演奏を披露してくれました「楽鼓」ですが、今年で9年連続全国大会出場も果たしており、その存在も幅広く知られて様々なところからの公演依頼も多く、引っ張りだこ状態です。大晦日には鶴舞公園で、県内の高校生らと共に総勢2,000人が和太鼓に合わせて踊り2,000年を迎えるというイベントでも活躍しました。

今では部員数でも本校最大のクラブである「楽鼓」の活躍ぶりは、今後も新聞やTVなど様々なところで皆さんにご覧頂けるといいますので、暖かいご声援よろしくお願いします。

卒業年度	幹 事	卒業年度	幹 事
昭和35年度	（佐藤友彦）	昭和60年度	福地充洋
36年度	辻 和夫	61年度	松田洋幸
37年度	池田修三	62年度	小林純穂
38年度	吉川宗甫、宮田建男、山東克彦	63年度	渡辺真理子
39年度	吉田孝仁、水野義広、水野孝安	平成元年度	仲野 智、久田里子
40年度	武田晃代、島田ひろ子	2 年度	瀬尾隆之、尾崎ゆか
42年度	山本哲資	3 年度	羽月聖佳
47年度	近藤春幸	4 年度	富田達郎、竹川寅之
48年度	植木高広、植木典子（森 恵子）	5 年度	加藤佳奈子、堀場純矢、西 将志、鈴木聡子
50年度	山口善幸	6 年度	白井雅樹（榎戸幸子）
53年度	片山 隆、西村容子	7 年度	佐藤かおり、鶴長泰輔
55年度	筧 重和、菊地淳子	9 年度	尾之内重、白石優理、長谷川純子、
56年度	岡本吉治		宮川鮎美、寺澤由紀
57年度	川瀬克幸（木村美雪）	10年度	
58年度	福井政浩、榊原京子、樋口吉巳		



編 集 後 記

- § 昨年の懇親会は久しぶりに開催されたこともあり、懐かしい顔ぶれが集まりました。懐かしい高校時代の話題や、恩師を囲んでの最近のそれぞれの話に時が経つのも忘れるひとときでした。
- § 先日、近所で世間を騒がせる大事故があり、そのニュースを見て旧友から電話がありました。幸い私自身にはたいしたことは無かったのですが、高校時代の同級生からの心配してくれる温かい気持ちに接し嬉しく思いました。こんな同窓生をいつまでも大切にしたいものですね。
- § 同窓会としての大きな輪が、広がることを願い今回の会報“たちはな”を作成しました。
FAX・お手紙を同窓会事務局までお寄せ下さい。また各卒業年度において、幹事の決定状況が芳しくありません。皆様にご協力頂けますようお願いします。



日本福祉大学付属高等学校同窓会
〒470-3233 知多郡美浜町奥田字中之谷2-1
TEL (0569) 87-2311 FAX (0569) 87-2312